

## 【会場1】

開催日:2018年2月8日(木)

会場:大岡山キャンパス S221講義室

時間	発表者	コース	(主)指導教員	論文題目
9:00 ~ 9:25	小中澤 正泰	エネルギー	高田 十志和	分子不斉ロタキサンを基盤とする不斉場の構築と活用
9:25 ~ 9:50	廣飯 美耶	エネルギー	高田 十志和	環状パラジウム錯体を用いる高分子[2]ロタキサンの合成と運動性
9:50 ~ 10:15	金子 宥輔	エネルギー	斎藤 礼子	可逆的付加開裂連鎖移動重合におけるポリマー末端のラジカル誘起反応によるブロック共重合体創製
10:15 ~ 10:40	高杉 晃央	エネルギー	斎藤 礼子	チオール・アミン共存下でのエポキシ樹脂及びエポキシ-シリカ複合体の創製
10:40 ~ 10:50	(休憩)			
10:50 ~ 11:15	坂井 小雪	エネルギー	富田 育義	メソゲン部位を有するアレン類のリビング配位ブロック共重合に基づく垂直配向ナノ構造を有する機能性高分子薄膜の構築
11:15 ~ 11:40	松尾 玲季	エネルギー	富田 育義	アレン類のリビング配位重合に基づく機能性スターポリマーの構築と応用
11:40 ~ 12:05	志岐 亮輔	エネルギー	稲木 信介	分子内縮環反応を利用した含フッ素ヘテロアセン類の新規合成法の開発と特性評価
12:05 ~ 12:30	常石 千晶	エネルギー	稲木 信介	電解酸化によるピラー[6]アレーンを骨格とした柱状構造体の構築
12:30 ~ 13:30	(休憩)			
13:30 ~ 13:55	甲斐 友邦	応用化学	吉沢 道人	芳香環ミセル:内包誘起発光およびオルト置換効果
13:55 ~ 14:20	草葉 竣介	応用化学	吉沢 道人	アントラセン環を有する金属架橋カプセル:水中における親水性オリゴマーの特異内包
14:20 ~ 14:45	黒田 清徳	応用化学	吉沢 道人	多環芳香族パネルを有する分子チューブ:固体蛍光特性とパネル拡張
14:45 ~ 15:10	張 凡	応用化学	石曾根 隆	リビングアニオン重合を用いた交互共重合体を主鎖とするグラフト共重合体の合成
15:10 ~ 15:35	松原 達宏	応用化学	石曾根 隆	2位または3位に置換基を有するベンゾフルベン誘導体のアニオン重合
15:35 ~ 16:00	中川 陽太	応用化学	石曾根 隆	ビニル基のβ位にアルキル基を有するジビニルベンゼン誘導体のアニオン重合
16:00 ~ 16:10	(休憩)			
16:10 ~ 16:35	越野 皓太	応用化学	伊藤 繁和	9位を高周期15族元素とする安定なアントラセンの合成と性質
16:35 ~ 17:00	篠崎 智一	応用化学	伊藤 繁和	高活性塩化金触媒を志向する共役拡張型ホスファルケンの合成法開発
17:00 ~ 17:25	岩田 晃輔	応用化学	村橋 哲郎	シクロヘプタトリエニル配位子を有する13核パラジウムクラスターの合成と構造の解明
17:25 ~ 17:50	石川 智子	応用化学	村橋 哲郎	サンドイッチ型パラジウム四核シートクラスターに対するパラジウム0価種の付加挙動
17:50 ~ 18:15	工藤 瑛士	応用化学	村橋 哲郎	H <sub>2</sub> Pd-Pd二核錯体を用いた1,3-ジエンのE-Z異性化反応

開催日:2018年2月9日(金)

会場:大岡山キャンパス S221講義室

\* 博士後期課程進学予定者

時間	発表者	コース	(主)指導教員	論文題目
9:00 ~ 9:25	佐藤 昌和	応用化学	田中 健	金触媒を用いた分子内ヒドロアリール化反応によるカルボヘリセンのエナンチオ選択的合成
9:25 ~ 9:55	西垣 稔平*	応用化学	田中 健	ロジウム触媒を用いたアルキンの分子間交差三量化反応による多官能性シクロパラフェニレンの合成
9:55 ~ 10:20	山野 諒太	応用化学	田中 健	ロジウム触媒を用いた[2+2+2]付加環化反応による[9]ヘリセンおよびジベンゾ[7]ヘリセンのエナンチオ選択的合成と光学特性
10:20 ~ 10:30	(休憩)			
10:30 ~ 10:55	加藤 佑弥	応用化学	穂田 宗隆	共有結合性アンカーを持つ有機金属分子ワイヤーの合成と単分子電気伝導度測定
10:55 ~ 11:20	小西 勇介	応用化学	穂田 宗隆	SF <sub>5</sub> 基を有するイリジウムフォトレドックス触媒の合成と光触媒反応
11:20 ~ 11:45	中山 圭司	応用化学	穂田 宗隆	非対称有機金属分子ワイヤーの合成と分光測定による電位勾配の評価
11:45 ~ 12:45	(休憩)			
12:45 ~ 13:10	牛山 愛菜	応用化学	三上 幸一	ジフルオロシクロプロパン誘導体の触媒的不斉合成法の開発
13:10 ~ 13:35	梅垣 博史	応用化学	三上 幸一	含フッ素4員環化合物の触媒的不斉合成法の開発
13:35 ~ 14:00	堀 開史	応用化学	三上 幸一	芳香族化合物に対する触媒的ジフルオロメチル化反応の開発
14:00 ~ 14:25	大泉 知久	応用化学	小西 玄一	強くねじれたビス(N,N-ジアルキルアミノ)アレーン類を有するマクロサイクルの合成と蛍光特性に関する研究
14:25 ~ 14:50	倉持 薫	応用化学	斎藤 礼子	パーヒドロポリシラザンを用いたシリカ粒子合成における構造形成機構の解明
14:50 ~ 15:00	(休憩)			
15:00 ~ 15:25	西川 享伸	応用化学	稲木 信介	芳香族求核置換反応に基づく含フッ素π共役高分子のポスト機能化と特性評価
15:25 ~ 15:50	林 晃平	応用化学	富田 育義	14族、15族ヘテロール骨格の還元を鍵反応とする機能性高分子の合成
15:50 ~ 16:15	池田 彩乃	応用化学	高田 十志和	Handcuff型ロタキサン環状触媒の合成と内孔空間制御
16:15 ~ 16:40	藤牧 諒	応用化学	田中 浩士	ネオペンチル型標識基を用いる <sup>18</sup> F PET Aβトレーサーの合成研究
16:40 ~ 17:05	稲田 慎之介	応用化学	田中 浩士	ネオペンチル型標識基を有する <sup>18</sup> F PETトレーサー二段階標識法の開発
17:05 ~ 17:30	鯉沼 僚輔	応用化学	田中 浩士	α(2,8)ポリシアル酸の合成研究

平成30年3月修了 応用化学系 応用化学コース・エネルギーコース 修士論文発表会

発表時間:17分 質問:7分 交代:1分

博士課程進学予定者: 発表時間:17分 質問:12分 交代:1分

【会場2】

開催日:2018年2月8日(木)

会場:大岡山キャンパス S423講義室

\* 博士後期課程進学予定者

9:00 ~ 9:05 開会挨拶

時間	発表者	コース	(主)指導教員	論文題目
9:05 ~ 9:35	臼井 鴻志 *	エネルギー	穴戸 厚	色素ドーブ液晶の配向規制力制御による高感度非線形光学材料の創製
9:35 ~ 10:05	田口 諒 *	エネルギー	穴戸 厚	フレキシブル高分子フィルムの湾曲に伴う微小ひずみ定量測定と変形挙動解析
10:05 ~ 10:30	川瀬 亮太郎	エネルギー	北村 房男	パラジウム-セリア複合電極触媒の作製及び特性評価
10:30 ~ 10:40	(休憩)			
10:40 ~ 11:05	長谷川 香織	エネルギー	長井 圭治	高分子電解質バブルのキャピラリー内輸送に関する研究
11:05 ~ 11:30	山田 航平	エネルギー	穴戸 厚	硬さの異なる高分子材料を積層したフィルム基板の湾曲ひずみ解析
11:30 ~ 11:55	富田 俊介	エネルギー	北村 房男	表面増強赤外分光法を用いた白金担持触媒表面の「その場」観察
11:55 ~ 12:20	BATBUYAN MUNKH OD	エネルギー	北村 房男	グラフェンを導入したセリア薄膜修飾金電極の作製及び電気化学特性の評価
12:20 ~ 13:20	(休憩)			
13:20 ~ 13:45	山根 圭太	エネルギー	伊東 章	銀塩混合イオン液体膜によるオレフィン系炭化水素ガス分離
13:45 ~ 14:10	香川 智也	応用化学	伊東 章	膜蒸留法による模擬血液の除水
14:10 ~ 14:35	中井 梨紗子	応用化学	下山 裕介	イオン液体とポリマー複合体の物性と揮発性有機溶媒の吸収に関する研究
14:35 ~ 15:00	Dimas Ardiyanta	応用化学	下山 裕介	Study of chitosan hydrogel stability triggered by carbon dioxide on dye adsorption
15:00 ~ 15:10	(休憩)			
15:10 ~ 15:35	猪俣 晴彦	応用化学	芹澤 武	液晶性ウイルスメンブレンの調製と分離機能の評価
15:35 ~ 16:00	小島 知也	応用化学	芹澤 武	セルロースオリゴマーの自己組織化を利用した複合ハイドロゲルの創製と力学物性評価
16:00 ~ 16:25	米田 昌平	応用化学	芹澤 武	界面におけるオクチル化セルロースオリゴマーの特異な自己組織化挙動の評価
16:25 ~ 16:35	(休憩)			
16:35 ~ 17:00	稲葉 俊人	応用化学	古屋 秀峰	水溶性側鎖を有するポリアスパルテートの二次構造と温度応答特性
17:00 ~ 17:25	井上 裕達	応用化学	古屋 秀峰	ブロック共重合体を用いた固体状態におけるポリアスパルテートのらせん反転様式の解明
17:25 ~ 17:50	細川 和穂	応用化学	古屋 秀峰	表面グラフト化ポリアスパルテート薄膜の垂直配向構造と表面電気特性
17:50 ~ 18:15	出島 怜奈	応用化学	中嶋 健	ナノ触診原子間力顕微鏡による熱可塑性エラストマーの機械特性の研究

開催日:2018年2月9日(金)

会場:大岡山キャンパス S423講義室

時間	名前	コース	(主)指導教員	論文題目
9:00 ~ 9:25	栗本 絵利久	応用化学	原 正彦	表面分光分析法を用いた酸化チタン鉱物表面における化学進化反応解析
9:25 ~ 9:50	田中 雄介	応用化学	原 正彦	二酸化チタンナノ粒子を用いた表面増強ラマン散乱分光法の開発と分子吸着相互作用分析への応用
9:50 ~ 10:15	石川 良	応用化学	川内 進	双安定性ロタキサンが示すスイッチング挙動の分子動力学シミュレーション
10:15 ~ 10:40	大槻 恒太	応用化学	川内 進	Aromatic-Quinoid Approachに基づく導電性高分子のバンドギャップ制御のための新指標の開発
10:40 ~ 10:50	(休憩)			
10:50 ~ 11:15	石丸 純也	応用化学	大友 明	3d遷移金属を含むダブルペロブスカイト型酸化物秩序相の薄膜合成ならびに電子状態とスピン構造
11:15 ~ 11:40	東條 尚志	応用化学	大友 明	SrTiO <sub>3</sub> /LaTiO <sub>x</sub> 超格子構造を用いた電気二重層トランジスタの作製
11:40 ~ 12:05	西山 奈菜	応用化学	大友 明	パルスレーザ堆積法によるカルシウムフェライトのエピタキシャル成長

## 平成30年3月修了 応用化学系 応用化学コース・エネルギーコース 修士論文発表会

発表時間:17分 質問:7分 交代:1分

博士課程進学予定者:発表時間:17分 質問:12分 交代:1分

## 【会場3】

開催日:2018年2月8日(木)

会場:大岡山キャンパス S222講義室

\* 博士後期課程進学予定者

時間	発表者	コース	(主)指導教員	論文題目
9:00 ~ 9:25	横山 崇	エネルギー	青木 才子	窒化銅表面に形成されたZnDTPトライボフィルムの耐摩耗性能および構造の評価
9:25 ~ 9:50	田野 裕也	応用化学	青木 才子	異種添加剤共存下で形成されたリン系トライボフィルムによる高摩擦発現メカニズムの検討
9:50 ~ 10:15	吉岡 柚香	応用化学	戸木田 雅利	ガラス基板に接着した単分子二層膜を形成する二元ブロック共重合体
10:15 ~ 10:40	西村 美帆子	応用化学	戸木田 雅利	ポリ置換メチレンの主鎖立体規則性と相挙動
10:40 ~ 10:50	(休憩)			
10:50 ~ 11:15	渡辺 一樹	応用化学	戸木田 雅利	ツイストバンドネマチック液晶を発現する二量体分子の設計
11:15 ~ 11:40	生田 昂輝	応用化学	大塚 英幸	高いジスルフィド結合の開裂反応を用いたオリゴスルフィド結合含有高分子の合成とその特性
11:40 ~ 12:10	木田 淳平*	応用化学	大塚 英幸	熱や力による刺激応答特性を光制御可能な分子骨格を用いた反応性高分子の開発
12:10 ~ 13:20	(休憩)			
13:20 ~ 13:45	石附 邦彬	応用化学	大塚 英幸	力学的刺激に応答して複数の色変化を示す高分子材料の合成と評価
13:45 ~ 14:10	眞井 麻理菜	応用化学	大塚 英幸	着色・発光を示す力学応答性ポリアウレタンの合成と特性制御
14:10 ~ 14:35	岡部 玄	応用化学	福島 孝典	特異な自己集合挙動を示す1,8位置換トリブチセンを主鎖および末端に有する高分子の合成と物性評価
14:35 ~ 15:00	小宮山 諒	応用化学	福島 孝典	スマネンをメソゲンとするカラムナー液晶の特異な力学応答挙動
15:00 ~ 15:25	清水 佑樹	応用化学	福島 孝典	C <sub>3</sub> 対称性プロペラ型π共役分子の合成と不斉誘起
15:25 ~ 15:35	(休憩)			
15:35 ~ 16:00	田中 利采	応用化学	佐藤 満	水系における感温性高分子の構造転移に及ぼすイオン効果
16:00 ~ 16:25	西山 昂希	応用化学	佐藤 満	アミノ酸系イオン液体を利用した新規ドライ物質の調製とCO <sub>2</sub> 吸収材料としての性能評価
16:25 ~ 16:50	大石 賢太郎	応用化学	野島 修一	結晶性ABC星型三元ブロック共重合体の高次構造
16:50 ~ 17:15	篠塚 祐志	応用化学	野島 修一	イソヘキシド由来ポリアステルの構造と物性
17:15 ~ 17:40	米口 裕規	応用化学	野島 修一	ラメラ状ナノ構造中に拘束された高分子鎖の結晶化に与える鎖末端拘束の影響
17:40 ~ 17:50	(休憩)			
17:50 ~ 18:15	小沼 浩之	応用化学	桑田 繁樹	トリス(ピラゾリルメチル)アミン鉄錯体の合成と機能開発
18:15 ~ 18:40	高村 泰心	応用化学	桑田 繁樹	ジオキシム配位子を有するハーフサンドイッチ型有機金属錯体の合成と反応性
18:40 ~ 19:05	中村 仁美	応用化学	桑田 繁樹	ルテニウム及びイリジウムテザー型キラルN-スルホニルジアンミン錯体の合成とその水素移動触媒機能

開催日:2018年2月9日(金)

会場:大岡山キャンパス S222講義室

時間	発表者	コース	(主)指導教員	論文題目
9:00 ~ 9:25	岩崎 由美香	応用化学	小坂田 耕太郎	チアクラウンエーテルの遷移金属錯体の合成と溶液中における構造
9:25 ~ 9:50	岩澤 孝	応用化学	竹内 大介	二層型二核パラジウム錯体によるエチレンと種々のビニルモノマーとの共重合
9:50 ~ 10:15	鏑本 竜一	応用化学	竹内 大介	ジイミンパラジウム触媒を用いた多環状ポリオレフィンの合成と物性
10:15 ~ 10:40	中丸 裕一郎	応用化学	竹内 大介	ジイミンパラジウム錯体による含酸素官能基を有する1,1-二置換オレフィン類とα-オレフィンとの共重合
10:40 ~ 10:50	(休憩)			
10:50 ~ 11:15	折田 良司	応用化学	安藤 慎治	高い電子供与性を有する環状アミノ基の導入を基盤とする高蛍光性イミド化合物およびポリイミドの光学特性制御
11:15 ~ 11:40	田中 和幸	応用化学	安藤 慎治	前駆体の自己組織化を利用した全芳香族ポリイミド分子鎖の面内一軸および垂直配向制御
11:40 ~ 12:05	原田 真梨	応用化学	安藤 慎治	熱・光架橋性ポリイミドの分子間架橋度と線形・体積熱膨張挙動の相関
12:05 ~ 13:20	(休憩)			
13:20 ~ 13:45	丹羽 孝明	応用化学	小坂田 耕太郎	橋架けシリレン配位子を有する遷移金属複核錯体による不飽和有機分子の結合変換
13:45 ~ 14:10	野田 寛樹	応用化学	小坂田 耕太郎	含ホウ素配位子を有する新規環状白金錯体及びこれを起点としたボラシロキサン分子の合成
14:10 ~ 14:35	藤井 悠平	応用化学	小坂田 耕太郎	両親媒性N-アルキルピリジニウム錯体のロタキサン形成を利用した分子集合の制御
14:35 ~ 15:00	木村 高也	応用化学	野村 淳子	銅イオン交換したゼオライト触媒を用いたメタン転換反応
15:00 ~ 15:25	日吉 優貴	応用化学	野村 淳子	メソポーラスシリカ上に修飾した金属酸化物薄膜の物性評価
15:25 ~ 15:35	(休憩)			
15:35 ~ 16:00	竹内 信彦	応用化学	福島 孝典	Tröger's baseの高効率開環反応を鍵とした柔軟性ラダーポリマーの合成と物性
16:00 ~ 16:25	西浦 一翔	応用化学	福島 孝典	音波浮遊溶融法によるシアノビフェニル基を有する液晶ポリマーの構造化
16:25 ~ 16:50	森田 真聡	応用化学	福島 孝典	三脚型トリブチセン誘導体の自己集合構造に対するアルコキシ鎖の効果
16:50 ~ 17:15	森 文也	応用化学	久保内 昌敏	液相剥離を用いたグラフェン作製過程に及ぼす原料黒鉛構造の影響

平成30年3月修了 応用化学系 応用化学コース・エネルギーコース 修士論文発表会

発表時間:17分 質問:7分 交代:1分

博士課程進学予定者:発表時間:17分 質問:12分 交代:1分

【会場4】

開催日:2018年2月8日(木)

会場:大岡山キャンパス S422講義室

\* 博士後期課程進学予定者

時間	発表者	コース	(主)指導教員	論文題目
9:00 ~ 9:25	松浦 明	エネルギー	伊原 学	2層多孔質 Si 基板の表面構造制御と超高速成膜を用いた単結晶薄膜 Si 太陽電池の評価
9:25 ~ 9:50	用貝 亮二	エネルギー	伊原 学	ポーラスシリコン太陽電池におけるナノ構造の役割と表面パッシベーションの検討
9:50 ~ 10:15	李 孝宰	エネルギー	伊原 学	固体酸化物型燃料電池/電解セルにおける包括的な水素発電/水電解電極反応モデルの提案
10:15 ~ 10:25	(休憩)			
10:25 ~ 10:50	柴沼 知哉	応用化学	山中 一郎	高活性化白金アノード触媒を用いたメタノール水溶液電解改質反応による高効率水素合成
10:50 ~ 11:15	佐藤 雅人	応用化学	山中 一郎	Co-N-C 系カソード触媒による二酸化炭素と水を用いた炭化水素電解合成反応
11:15 ~ 11:40	原田 賢哉	エネルギー	脇 慶子	多層カーボンナノチューブ電極を用いたペロブスカイト型太陽電池に関する研究
11:40 ~ 12:05	福島 陽明	エネルギー	脇 慶子	窒素、鉄をドーブさせた多層カーボンナノチューブの耐久試験における酸素還元反応特性の評価
12:05 ~ 13:20	(休憩)			
13:20 ~ 13:45	島田 翔太郎	エネルギー	谷口 泉	硫黄炭素複合体正極の合成とそれを用いたリチウム硫黄電池の電池特性の改善
13:45 ~ 14:10	中島 健太	エネルギー	谷口 泉	噴霧熱分解法を用いたホウ酸鉄リチウムの合成とそのリチウム二次電池特性
14:10 ~ 14:35	西野 広晃	エネルギー	和田 裕之	酸化亜鉛ナノ構粒子焼結体の作製と熱特性の評価
14:35 ~ 15:00	柳原 龍河	エネルギー	和田 裕之	液中レーザーアブレーション法によるナフタロシアニンナノ粒子の作製と超音響イメージング用造影剤への応用
15:00 ~ 15:10	(休憩)			
15:10 ~ 15:35	長村 直弥	応用化学	高尾 俊郎	In を導入した Ru ヒドリドクラスターの合成と反応性
15:35 ~ 16:00	長江 諒	応用化学	高尾 俊郎	ピリジン系、ピピリジン系配位子を有した二核ルテニウム錯体の反応性と性質
16:00 ~ 16:25	池田 まりか	応用化学	本倉 健	メソポーラスシリカ固定化 Pd 錯体の協奏的触媒作用による求核剤のアリル化反応
16:25 ~ 16:55	前田 恭吾*	応用化学	本倉 健	Rh 錯体および第三級アミンを同一表面に固定した触媒を用いた高効率ヒドロシリル化反応
16:55 ~ 17:20	望月 慧人	応用化学	山中 一郎	ゼオライト担持インジウム触媒によるメタン脱水素カップリング反応
17:20 ~ 17:45	玉田 優	応用化学	山中 一郎	炭素-ナフィオン系水素透過膜の水素透過性と純過酸化水素水合成への応用

開催日:2018年2月9日(金)

会場:大岡山キャンパス S422講義室

\* 博士後期課程進学予定者

時間	氏名	コース	(主)指導教員	論文題目
9:00 ~ 9:25	荒木 祐哉	エネルギー	平山 雅章	$\text{LiNi}_{1/3}\text{Co}_{1/3}\text{Mn}_{1/3}\text{O}_2$ 電極の高電位作動時における表面構造変化のその場観察
9:25 ~ 9:50	出雲 大揮	エネルギー	平山 雅章	高電位正極/硫化物固体電解質複合体の作製と全固体電池特性
9:50 ~ 10:15	岩崎 佑紀	エネルギー	菅野 了次	$\text{H}^-$ 導電体 $\text{Ln}_{2-x-y}\text{Sr}_{x-y}\text{Li}_{1-x-y}\text{O}_{3-y}$ の高压合成と結晶構造、イオン導電性
10:15 ~ 10:40	中山 潤平	エネルギー	平山 雅章	X 線および中性子反射率法によるリチウム電池電極/電解液界面構造の観察
10:40 ~ 10:50	(休憩)			
10:50 ~ 11:15	大工原 秀吾	エネルギー	菅野 了次	$\text{Li}_{10}\text{GeP}_2\text{S}_{12}$ 型構造を基軸とする Li-Si-P-S-X (X = N, O, F, Cl) 系リチウムイオン導電体の合成、構造と物性
11:15 ~ 11:40	堀澤 侑平	エネルギー	平山 雅章	Anatase 型 $\text{TiO}_2$ 電極/固体電解質界面の構築と光電気化学特性評価
11:40 ~ 12:05	吉野 和宙	エネルギー	菅野 了次	$\text{Li}_{10}\text{GeP}_2\text{S}_{12}$ 型構造を有する硫化物系固体電解質の安定性評価と全固体リチウム電池特性
12:05 ~ 13:20	(休憩)			
13:20 ~ 13:45	今岡 笙太郎	応用化学	山元 公寿	典型金属を用いた新規ナノクラスター及びナノシートの構築と物性
13:45 ~ 14:10	郡 誠	応用化学	山元 公寿	水素を用いた精密金属/合金クラスターの新規合成法開発
14:10 ~ 14:40	園部 量崇*	応用化学	山元 公寿	銅クラスターによる炭化水素の触媒的酸化反応
14:40 ~ 15:05	内藤 祐輝	応用化学	今岡 享稔	ボロン酸エステルを用いた指向性オリゴマーの合成
15:05 ~ 15:15	(休憩)			
15:15 ~ 15:40	南澤 慶伍	応用化学	山元 公寿	貴金属元素クラスターの酸素酸化触媒能
15:40 ~ 16:05	宮田 成実	応用化学	山元 公寿	屈曲型架橋分子による dendritic 超分子ポリマーの創製
16:05 ~ 16:35	Tang Yuansen*	応用化学	山元 公寿	Synthesis and Optimisation of Shell-isolated Gold Nanoparticles for SHINER study on Nano/Subnano Materials

平成30年3月修了 応用化学系 応用化学コース・エネルギーコース 修士論文発表会

発表時間: 17分 質問: 7分 交代: 1分

博士課程進学予定者: 発表時間: 17分 質問: 12分 交代: 1分

【会場5】

開催日: 2018年2月8日(木)

会場: 大岡山キャンパス S421講義室

\* 博士後期課程進学予定者

時間	名前	コース	(主)指導教員	論文題目
10:00 ~ 10:30	松久 将之 *	エネルギー	和田 雄二	$\alpha$ -Fe <sub>2</sub> O <sub>3</sub> 電極表面上における電子移動反応に対するマイクロ波効果の解明
10:30 ~ 10:55	早川 翔悟	エネルギー	和田 雄二	Ru含有ヘテロポリ酸触媒を用いた電気化学的な水の酸化反応における高周波交番電磁場印加による促進
10:55 ~ 11:20	宮澤 謙太	エネルギー	吉田 尚弘	グリシン、アラニンの部位別炭素安定同位体比測定法の確立
11:20 ~ 11:45	伏見 譲	エネルギー	吉田 尚弘	天然ガス中プロパンの位置別水素安定同位体測定を用いた天然ガス起源の特定
11:45 ~ 12:10	阿部 恵里子	エネルギー	和田 雄二	金属酸化物触媒のマイクロ波吸収特性の評価およびメタン転換反応への応用
12:10 ~ 13:30	(休憩)			
13:30 ~ 13:55	鶴田 明日香	応用化学	吉田 尚弘	氷床コアの硝酸窒素安定同位体組成から復元する過去の間活動の変遷
13:55 ~ 14:20	南出 泰佑	応用化学	大河内 美奈	診断技術向上に向けたベンズアルデヒド結合性ペプチドおよびCdTe QD結合性ペプチドの探索
14:20 ~ 14:45	矢内 健太郎	応用化学	大河内 美奈	脂質膜修飾SiO <sub>2</sub> 粒子による曲率認識タンパク質のスクリーニング手法の開発
14:45 ~ 15:10	上田 裕耀	応用化学	岡本 昌樹	二相系反応の水相を内包した中空メソポーラスシリカのマイクロ反応器としての利用とマイクロ波照射による効率的加熱
15:10 ~ 15:35	高橋 友希	応用化学	岡本 昌樹	球状メソ多孔性粒子の積層によるメソマクロバイモダル多孔体の調製とその利用
15:35 ~ 16:00	鶴田 啓介	応用化学	岡本 昌樹	水存在下の加熱処理による高分散シリカ担持ニッケル触媒の調製法の開発
16:00 ~ 16:25	堀越 瞬	応用化学	関口 秀俊	プラズマによる超微粒子合成プロセスを導入したエレクトロスピンニング法の開発
16:25 ~ 16:50	矢矧 奈穂子	応用化学	関口 秀俊	超音速流れにおけるグライディングアーク放電の挙動解析
16:50 ~ 17:15	浅川 智紀	応用化学	淵野 哲郎	プロセスリスク解析に基づくLayer of Protection Analysisの合理化
17:15 ~ 17:40	溝根 太雅	応用化学	淵野 哲郎	原料品質及び輸送方式を考慮した食品サプライチェーンの最適化
17:40 ~ 18:05	定村 壮	応用化学	淵野 哲郎	クリティカルオペレーションに基づくプロセススタートアップ操作概念設計

開催日: 2018年2月9日(金)

会場: 大岡山キャンパス S421講義室

\* 博士後期課程進学予定者

時間	名前	コース	(主)指導教員	論文題目
10:00 ~ 10:25	鈴木 諒	応用化学	森 伸介	ECRプラズマCVDを用いたCNWの合成とその並列化による異方性導電膜への応用
10:25 ~ 10:50	豊田 俊輔	応用化学	森 伸介	大気圧プラズマジェットへのミスト状の原料供給による薄膜形成プロセスの開発
10:50 ~ 11:15	浅野 陽佑	応用化学	山口 猛央	常温作動型イオン認識ゲート膜の開発と特性評価
11:15 ~ 11:40	榊原 朱夏	応用化学	山口 猛央	全芳香族高分子電解質を用いた固体アルカリ燃料電池の高耐久化に関する研究
11:40 ~ 12:05	ダオ ヴィエット ゴック	応用化学	山口 猛央	PPOを用いた固体アルカリ燃料電池用細孔フィリング電解質膜の開発及び評価
12:05 ~ 13:30	(休憩)			
13:30 ~ 13:55	藤田 遼介	応用化学	山口 猛央	酸素還元特性の向上へ向けたPtFeナノ粒子連結触媒の原子配列規則度制御に関する研究
13:55 ~ 14:25	杉田 佳之 *	応用化学	山口 猛央	固体高分子形水電解用カーボンフリーRu・Ir系ナノ粒子連結触媒の開発
14:25 ~ 14:50	大谷 洋晶	応用化学	吉川 史郎	気液スラグ流を利用した水素のギ酸への変換プロセスに関する研究
14:50 ~ 15:15	難波 悠輝	応用化学	吉川 史郎	中空糸膜型ダイアライザーの膜表面状態がファウリングに及ぼす影響
15:15 ~ 15:40	宮崎 隆太郎	応用化学	吉川 史郎	テイラークウェット流れにおける粘弾性の影響
15:40 ~ 16:05	田村 真樹	応用化学	多湖 輝興	メタノールを水素源に用いたin situ水素化分解によるリグニン由来難分解性物質からの単環芳香族類生成
16:05 ~ 16:30	齋藤 尚輝	応用化学	大川原 真一	光触媒懸濁液と酸素の螺旋管内気液スラグ流によるアニスアルデヒドの合成とCFDモデリング
16:30 ~ 16:55	篠澤 裕輔	応用化学	大川原 真一	フォトフェントン反応による難分解性有機物の分解とその速度論的解析